

Maxi-Cosi CabrioFix

取扱説明書 保証書



もくじ

お使いいただく前に	2
・カブリオフィックスとは	2
・本取扱説明書で使用する表記の説明	4
・お使いいただけるお子様の範囲	4
・本製品の部位・部品の名称	6
お子様を乗せるまえに	8
・着脱式シートインサート	8
・キャリングハンドルの使い方	8
・本製品の正しい持ち方	9
お子様の乗せ方	10
・サンキャノピーの使い方	14
・使用に関する共通の禁止事項	15
車への取り付け方	25
・別売品への取り付け	31
・ベビーキャリーとして使用する	34
・ベビーチェアとして使用する	35
・ベビーカー用シートとして使用	36
お手入れのしかた	38

このたびはマキシコシ・カブリオフィックスをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、誤った使用方法をすると、お子様の安全を守る事ができないばかりでなく、他の乗員や本製品を使用する保護者の方の安全にも重大な影響を与えるおそれがあります。

安全のため、お使いになる前に、必ず本取扱説明書を最後まで熟読のうえ、本製品を正しくお使いください。本取扱説明書は、常に本体背面の取扱説明書ホルダ（P7「本製品の部位・部品の名称」を参照してください）に保管し、必要ときにいつでも参照できるようにしておいてください。

お使いいただく前に

カブリオフィックスを実際に使用する前に、本取扱説明書を必ずお読みの上、指示に従って正しくお使いください。本取扱説明書の内容や本製品をお使いの上で不明な点、不安な点がございましたら、そのままに

せず、お買い求めの販売店または本取扱説明書裏に記載の GMP サポートデスクまでご連絡の上、内容の確認をおこなってください。

本製品に同梱されているものの一覧

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものがそろっているかどうか、確認してください。一つでもそろっていないものがある場合、そのまま使用せずに、本取扱説明書裏に記載の GMP サポートデスクまでご連絡ください。



- ☐ 本製品
- ☐ 取扱説明書（本書）
- ☐ 適合車種一覧表
- ☐ ユーザー登録はがき

カブリオフィックスとは

本製品は、チャイルドシート、ベビーキャリー、ベビーチェア、ベビーカーに取り付けるベビーカー用のシートとして使用できます。

チャイルドシート

- 使用可能なお子様の体重 0kg ~ 13kg
（おおよそ生後 12 ヶ月まで）
- ECE R44/04 グループ 0+ 適合
- 自動車の座席の 3 点式シートベルトによる固定
- EasyBase（別売）または EasyFix（別売）に取り付けて固定



ベビーキャリー・ベビーチェア

- 使用可能なお子様の体重 0kg ~ 13kg
（おおよそ生後 12 ヶ月まで）



ベビーキャリー



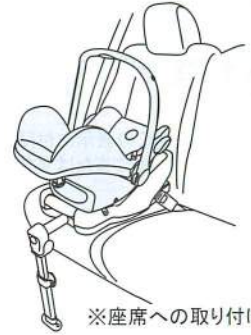
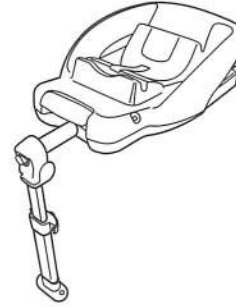
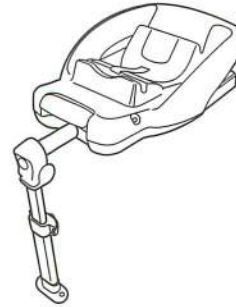
ベビーチェア

別売品について

- 本製品の車への取り付け、取り外しがワンタッチでできる土台

EasyBase (イージーベース)

EasyFix (イージーフィックス)



※座席への取り付け

- ベビーカーに取り付けるベビーカー用のシートとして使用

Quinny buzz

Quinny ZAPP

Maxi-Cosi Mura



※オプションの部品をお使いいただく事により、弊社 Aribugy シリーズのベビーカーにも取り付けられます。詳しくは、本取扱説明書裏に記載の GMP サポートデスクでご確認ください。

お使いいただく前に (つづき)

本取扱説明書で使用する表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただくべき事項を、「危険」「警告」「注意」に区分して強調して表記しております。

これらは、対象となる事柄を守らなかった場合に予想される、危害・損害の程度によって区分されています。

 危険	この表示に付随して記載されている内容を守らないと、死亡または重傷を負うような切迫した危険があることを示します。
 警告	この表示に付随して記載されている内容を守らないと、死亡または重傷を負うことがあり得ることを示します。
 注意	この表示に付随して記載されている内容を守らないと、軽傷または中程度の傷害を負うことがあり得ること、および、本製品またはその他の物的な資産に損害をあたえ得ることを示します。

お使いいただけるお子様の範囲

本製品は、欧州のチャイルドシート基準の ECE R44/04 グループ 0+ に適合したチャイルドシートです。次の範囲にあてはまるお子様にご使用いただけます。

● 体重：0kg ～ 13kg（おおよそ生後 12 ヶ月まで）
本製品をチャイルドシートとしてご使用いただく場合、

特に月齢の低い間は、可能な限り運転者以外に保護者の方が同乗し、お子様の様子を確認するよう心がけてください。運転者以外の保護者が同乗できない場合、適宜に安全な場所に自動車を停車して、お子様の様子を確認するようにしてください。

警告

● 上記の範囲内でも、本製品に正しくお子様を乗せた際に、頭頂部や足が本体から上にはみ出してしまう場合、足が本体から極端にはみ出してしまう場合は使用しないこと。



注意

● 月齢の低いお子様に使用する場合、負担とならないよう適宜（最低でも 1 時間に一度）に、お子様を降ろして休憩すること。



本製品をチャイルドシートとしてご使用いただく前に

チャイルドシートは、交通事故や車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作）によるお子様への負担・衝撃を軽減することを目的としており、お子様を交通事故や急制動から無傷で守る事を保証するものではありません。

チャイルドシートが車に正しく取り付けられていない、チャイルドシートにお子様为正しく固定されていない、チャイルドシートがお子様の体重・体格に合っていない場合、交通事故や車の急制動時に、お子様の安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本取扱説明書および本製品本体の表示に従って、正しくご使用の上、常に安全な運転を心がけてください。短い距離のドライブでも、必ず本製品を正しくご利用ください。

⚠ 警告

● 本製品の梱包に使用されているビニール袋は、開梱後、穴を開けて直ちにお子様手の届かない所に廃棄してください。お子様が被るなどすると、窒息などの重大な事故につながるおそれがあります。

● 本製品は自動車の進行方向に向かって後ろ向き取り付け専用のチャイルドシートです。



● 本製品は自動車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ使用可能なチャイルドシートです。後ろ向きや横向きなど、その他の向きの座席には使用できません。

ユーザー登録のお願い

本製品に添付の「ユーザー登録はがき」から、ご登録をお願いいたします。

本製品は欧州のチャイルドシート基準であるECE R44/04 グループ 0+ に適合したチャイルドシートとなります。

製造される本製品の全てがこの基準に適合するように、細心の注意を持って製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、その製品をチャイルドシートとして使用すると、お子様や他の同乗者の安全に影響を与える可能性があります。

このため、万が一基準に適合しない製品が発生し、万が一その製品が出荷されてしまった場合、直ちに

お客様にご連絡差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このため、より迅速にお客様に事情をお伝えできるよう、お客様にユーザー登録をお願いいたしております。お預かりしたお客様の個人情報は、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきますので、是非ともユーザー登録をお願いいたします。

<お預かりしたお客様の個人情報の利用目的>

本製品の安全性に関わる情報伝達に限る

<お客様の個人情報の開示範囲>

利用目的のために必要な範囲に限る
(メール配信 システム業者／印刷業者など)

本製品の部位・部品の名称

本取扱説明書において使用されている本製品の部位・部品の名称です。
本取扱説明書内で使用されている名称について必要に応じてこちらでご確認ください。



バックルに、ゴミや砂、食べかすなどの異物がつまっていないか確認し、つまっていれば、振り落としたり、吹き飛ばしたり、掃除機で吸うなどして、取り除きます。差込タングに汚れが付着している場合は、洗剤を使わず、水またはお湯をきつくしぼった布で汚れを拭き取ってください。差込タングとバックルの金属部分がさびないように、完全に乾くまで、差込タングをバックルに差し込まないでおきます。



⚠ 危険

- 絶対に潤滑油などの油やさび止めなどを使わないでください。水またはお湯だけで手入れします。

⚠ 警告

- 差込タングに汚れが付着したり、バックル内にほこりや砂、食べかすなどが入ったりすると、バックルと差込タングが正しく機能しなくなるおそれがあります。
- クリーニングをしてもベルトバックルが正しく留まらない場合、または、正しく解決できなかった不安な場合には、本製品を使用してはいけません。本取扱説明書裏に記載の GMP サポートデスクまでご連絡ください。

カバー類のお手入れ

カバー類は、最高 30 度のお湯で手洗いです。
乾燥機は使用できません。

⚠ 注意

- カバー類はお手入れ後、しっかりと乾かしてから装着してください。湿ったまま再装着すると、樹脂部品や金属部品の変質やさびの原因となります。

アドバイス

カバー類の一つでも取り外した状態では、本製品を使用することができません。お手入れ中でも本製品を引き続き使用できるよう、予備のカバーセットのご購入をお勧めします。予備のカバーセットの購入に関しては、本取扱説明書裏に記載の GMP サポートデスクまでお問い合わせください。

廃棄物の処理について

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指定に従って正しく廃棄してください。本製品は、中古での再利用での安全保証ができません。使用が完了した後や事故や強い衝撃を受けて使用できなくなって本製品を廃棄する際には、再利用による事故を防ぐため、シートカバー破るなどして、再利用が不可能な状態にしてから廃棄するよう、ご協力をお願いいたします。

⚠ 注意

- 本製品の梱包に使用されているビニール袋は、開梱後、穴を開けて直ちにお子様手の届かない所に廃棄してください。お子様が被るなどすると、窒息などの重大な事故につながるおそれがあります。

お手入れのしかた (つづき)

本体のお手入れの仕方

本体および乳児ベルト類は、水またはお湯をきつくしぼった布で汚れを拭き取るようにしてください。汚れがひどい場合には、中性洗剤を薄めた水またはお湯を布につけ、きつく絞ってから汚れを拭き取り、水またはお湯をきつくしぼった布で、洗剤を完全に拭き取ってください。

お手入れの後は、日陰に干して、乾かしてから使用してください。

⚠ 危険

● 本製品のお手入れのために、絶対に潤滑油などのオイル類は使わないでください。オイル類を使用すると、本製品が安全に機能しなくなります。

⚠ 警告

● 金属部品のさびや腐食を防ぐため、絶対に本製品を濡れたまま放置しないでください。

● 原液の中性洗剤、シンナーなどの有機溶剤、研磨剤入りの洗剤は絶対に使用しないでください。樹脂部品やナイロン部分が変質するおそれがあります。

● 洗剤が残っていると、本体や部品の変質を招くばかりでなく、本体や部品が滑りやすくなり、本製品を持ち運ぶ際に落下したり、事故や衝撃の際に、本製品が安全に機能しなくなったりするおそれがあります。完全に拭き取るようにしてください。

⚠ 注意

● 本体の衝撃吸収ウレタンフォームを濡らさないようにしてください。

● 取扱説明書ホルダに入っている本取扱説明書を濡らさないようにしてください。

バックル類のお手入れ

バックルと差込タングは、お子様を本製品に固定する重要な部品であり、かつ、最も操作回数の多い部品です、小まめにお手入れするようにしてください。以下のような症状が出たら、直ちにバックルと差込タングをお手入れしてください。

● 差込タングをバックルから外すときに以前より力が掛かるようになった

● 左右の差込タングがちゃんと重ならない

● 差込タングがバックルに差し込みにくくなった

● 差込タングをバックルに差し込んだ際に「カチッ」と音がしない



キャリングハンドル

ボタン穴

サンキャノピーをサンキャノピーフックに掛ける穴。

サンキャノピーフック

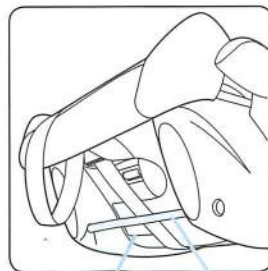
サンキャノピー

強い日差しからお子様を守る時、使用する。

サンキャノピー格納リム

ハンドルロックボタン

キャリングハンドルを各ポジションに調整する。



取り付け棒

別売の EasyBase、EasyFix に取り付け時、使用する。

製造番号

本取扱説明書裏の保証書に、製造番号を記入する。本製品のサポートを受ける際に必要となります。



※サンキャノピーを開いた状態

サンキャノピー格納ロックボタン

ベルトフック

車への取り付け時、シートベルトを通す。

収納コンパートメント

・取扱説明書ホルダ
・乳児肩ベルトの調整時使用する。



お子様を乗せるまえに

着脱式シートインサート

本製品には、月齢の低いお子様に負担を掛けず、より快適な態勢にし、かつ頭部の両側をサポートするための、背あてと頭部サポートからなる、着脱式シートインサートが付属しています。

ご購入時には、着脱式シートインサートは、背あてと頭部サポートの両方を取り付けた状態となっています。

- お子様成長して、体重が7kg～8kg（生後4～5ヶ月）になったら、まず背あて部分を取り外して使用してください。



- 更に成長して、お子様の頭が頭部サポートからはみ出すようになった場合には、頭部サポートも取り外して使用してください。



⚠ 警告

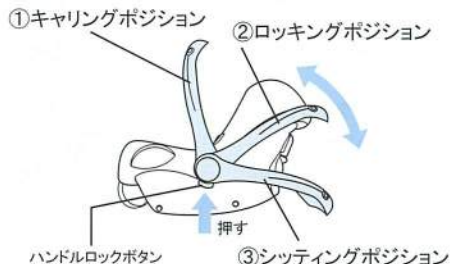
- 月齢の低い間（体重が7kg～8kg／生後4～5ヶ月まで）は、必ず背あてを付けた状態で使用すること。
- お子様成長して頭部が頭部サポートからはみ出すまでは、必ず頭部サポートを付けて使用すること。
- お子様成長して頭部が頭部サポートからはみ出した場合、必ず頭部サポートを外して使用すること。

キャリングハンドルの使い方

本製品を使用する前に、お子様の体型に合わせて各種の調整をします。調整のためにお子様を実際に乗せる前に、キャリングハンドルをシッティングポジションに設定します。

キャリングハンドルは、3段階に調整可能です。

- ①キャリングポジション
- ②ロッキングポジション
- ③シッティングポジション



キャリングハンドルの両側にあるハンドルロックボタンを同時に押して、キャリングハンドルを前後に動かし、希望のポジションに調整します。3つのポジションのいずれかにハンドルが来ると、両側のボタンが再び頭を出します。両側のボタンの頭が出ていれば、そのポジションで固定されます。シッティングポジションでは、キャリングハンドルが接地する事によって本体を安定させます。本製品を単体で使用する場合、お子様を乗せる際にシッティングポジション以外だと、本製品の本体が安定しません。

⚠ 注意

- 本体のヘリや突起した力所等で手をケガしないよう慎重に作業を進めてください。

⚠ 警告

- 全てのフックを留めた後で、シートカバーが確実に8カ所のフック全てで留められている事を再度確認してください。正しく全てのフックに留められていないと、事故や衝撃を受けた際に、シートカバーが本体から外れて、本製品が安全に機能しない場合があります。

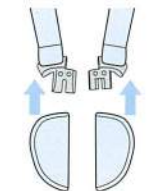
- 05 シートカバーが全てのフックに正しく留められている事を確認してから、サンキャノピー格納リムを「カチッ」と音がるように閉めます。



- 06 着脱式シートインサート（背あてと頭部サポート）を使用する場合は、先に乳児肩ベルトに通します。



- 07 両方のベルトパッドを乳児肩ベルトに通します。ベルトパッドの左右の向きを間違わないように注意してください。ベルトパッドの左右の向きについては右図を参照してください。



- 08 バックルカバーをバックルに通します。バックルカバーの表裏を間違わないように注意してください。バックルカバーの表裏については右図を参照してください。



- 09 左右の差込タングを重ねて、バックルに「カチッ」と音がするように差込ます。



- 10 本製品全体を眺め、シートカバーに不自然なズレなどがないか確認します。

⚠ 注意

- バックルと差込タングが外れていると、本製品を持ち運ぶ際に差込タングが人や物にぶつかり、ケガを負ったり、他の物を破損したりするおそれがあります。

⚠ 警告

- お子様の体格に合わせて、着脱式シートインサートを取り付けていない場合の背あてと頭部サポートを除いて、他の部品が全て正しく本製品に取り付けているかどうか確認してください。
- 本取扱説明書を抜き出してお手入れした場合、本取扱説明書を忘れずに、取扱説明書ホルダに戻しておくこと。
- お手入れした後は毎回、必ず「お子様の乗せ方」（P10～13）の指示に従って、乳児肩ベルトの長さ調整やクイックアジャスターベルトの調整が正しく行えるかどうかを確認してください。

お手入れのしかた (つづき)

取り外した部品の一覧



シートカバー



着脱式シートインサート
(背あてと頭部サポート)



バックルカバー



左右のベルトパッド

⚠ 警告

- カバー類やベルト類のクリーニング中など、それがたとえ一つのカバー類、ベルト類であっても、取り外した状態で本製品を使用してはいけません。
- 本製品のカバー類、ベルト類は、安全部品です。純正品以外のカバー類、ベルト類でこれを代用する事はできません。

カバー類の取り付けかた

- 01 シートカバーに、乳児肩ベルトとバックルを通します。



⚠ 注意

- シートカバーを破損させないように、慎重に作業してください。

02

クイックアジャスターベルトをシートカバーに通して、本体のフックに引っ掛けます。シートカバーの穴から、クイックアジャスターボタンを出します。



本体のフック

03

サンキャノピー格納ロックボタンを押して、サンキャノピー格納リムをできるだけ大きく開きます。

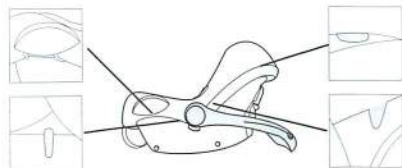


⚠ 注意

- サンキャノピー格納リムを無理に開こうとすると、サンキャノピー格納リムが破損する場合があります。無理なく開けられる範囲で大きく開けてください。

04

シートカバーを、本体の8カ所のフックに留めます。



本製品の正しい持ち方

お子様を乗せた状態で持つ場合は、できるだけ本体が地面に対して水平に安定するように注意してください。



キャリングハンドルがキャリングポジション以外の位置で固定されている場合、本体を両手でしっかり抱えるように持ってください。



キャリングハンドルを肩に担ぐと、本体が斜めになり危険です。



⚠ 警告

- お子様を乗せた状態で本製品を持ち上げる場合には、必ず、乳児肩ベルトでお子様を正しく固定してから持ち上げること。
- お子様を乗せた状態で本製品を持ち上げる場合には、必ず、キャリングハンドルをキャリングポジションにしてから、持ち上げること。



キャリングポジション

⚠ 注意

- お子様に乗っていない場合でも、差込タンクはバックルに差し込んでおくこと。差込タンクが外れていると、本製品を持ち運ぶ際に差込タンクが人や物にぶつかり、ケガを負ったり、他の物を破損したりするおそれがあります。



- キャリングハンドルや突起物に注意して持ち上げること。不注意に手を入れて持ち上げると、手を挟むなどしてケガをするおそれがあります。



- 稼動部などで手を挟まないように注意すること。

- キャリングハンドルがキャリングポジションの場合は、キャリングハンドルを持つようにすること。



- キャリングハンドルがキャリングポジション以外の場合は、キャリングハンドルを持たないこと。

- 乳児ベルトやバックル、小さな部品を持って持ち上げないこと。本製品が落下してケガをしたり、本製品が破損したりするおそれがあります。



お子様の乗せ方

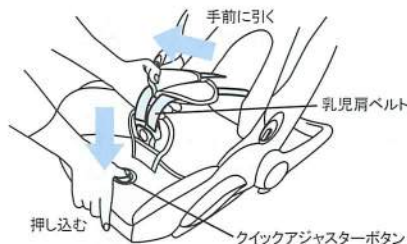
1 乳児肩ベルトをゆるめる

クイックアジャスターボタンを押し込みながら、乳児肩ベルトを手前に引いて、乳児肩ベルトをゆるめておきます。

クイックアジャスターボタンを押すと、乳児肩ベルトは力を入れなくてもゆるめる事ができます。楽にゆるめられない場合は、もう一度クイックアジャスターボタンがちゃんと押されているかどうか確認してください。

⚠ 警告

- 乳児肩ベルトの調整ができない場合、そのまま使用してはいけません。本取扱説明書裏に記載のGMPサポートデスクに連絡してください。



2 バックルの外し方

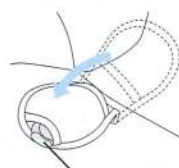
01 ベルトバックルボタンを押して、乳児肩ベルトの差込タンクを外します。



02 差込タンクは、左右それぞれの差込タンクフックに掛けます。



03 バックルを手前に折り返して、クイックアジャスターボタンの端にバックルを掛けます。



⚠ 注意

- 本体のお子様座る部分に玩具等の硬い物体がないことを確認すること。
- お子様を乗せる際に、必ず、差込タンクを左右の差込タンクフックに掛け、バックルをクイックアジャスターボタンの端に掛けておくこと。差込タンクやバックルは硬く、また、夏場などには高温になっている可能性があり、お子様が上に乗ると（触ると）ケガややけどをするおそれがあります。

⚠ 警告

- 絶対に差込タンクフックを持って、本体を持ち上げないこと。差込タンクフックが壊れて落下するおそれがあります。



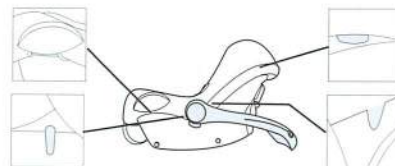
05 サンキャノピー格納ロックボタンを押して、サンキャノピー格納リムをできるだけ大きく開きます。



⚠ 注意

- サンキャノピー格納リムを無理に開こうとすると、サンキャノピー格納リムが破損する場合があります。無理なく開けられる範囲で大きく開けてください。

06 シートカバーは、本体の8カ所のフックで留められていますので、それを全て外します。



⚠ 注意

- 本体のヘリや突起した力所等で手をケガしないよう慎重に作業を進めてください。

07 シートカバーを、乳児肩ベルト、クイックアジャスターボタンの下から取り外します。



⚠ 注意

- 8カ所のフックは全て外してください。一つでもフックが留ったまま取り外すと、シートまたはフックが破損します。
- 乳児肩ベルトの差込タンクや、バックルでシートカバーを傷つけないように慎重に作業してください。無理に引き抜くと、シートカバーが破損するおそれがあります。

08 クイックアジャスターベルトを本体のフックから取り外して、シートカバーから抜き取ります。クイックアジャスターボタンを外します。



09 シートカバーが外れたら、サンキャノピー格納リムを「カチッ」と音がするまで閉じます。



⚠ 警告

- 本体の衝撃吸収ウレタンフォームは、取り外せません。絶対に本体からはがさないでください。



お手入れのしかた

本取扱い説明書の保管

本取扱い説明書は、必要な時にいつでも参照できるよう、本体背面の取扱説明書ホルダに保管しておいてください。



お手入れの方法

チャイルドシートとして使用している場合は、車の座席から本製品を取り外してください。

EasyBase または EasyFix (いずれも別売) に取り付けられている場合は、EasyBase または EasyFix から取り外してください。

Quinny ZAPP / Buzz または Maxi-Cosi Mura (いずれも別売) ベビーカーに取り付けるベビーカー用のシートとして使用している場合は、ベビーカーから本製品を取り外してください。

⚠ 注意

- 取り外した部品を無くさないように注意してください。

アドバイス

カバー類の一つでも取り外した状態では、本製品を使用することができません。お手入れ中でも本製品を引き続き使用できるよう、予備のカバーセットのご購入をお勧めします。予備のカバーセットの購入に関しては、本取扱説明書裏に記載の GMP サポートデスクまでお問い合わせください。

カバー類の取り外し方

- 01 本取扱説明書「キャリングハンドルの使い方」(P8)に従って、キャリングハンドルを、シッティングポジションに設定し固定します。バックルを解除し、乳児肩ベルトの差込タングを外します。



- 02 乳児肩ベルトから、両方のベルトパッドを引き抜きます。



- 03 着脱式シートインサートが付いている場合は、それも引き抜き、背あてと頭部サポートを分離します。



- 04 バックルから、バックルカバールカバールを引き抜きます。



3 乗せ方

お子様を本製品に楽な姿勢で乗せます。

お子様は、自ら座る位置を調整できません。姿勢に無理がある場合、お子様の位置をずらして調整します。

お子様の衣類の状態や乗せ方によっては、本製品が安全性能を発揮できないばかりでなく、窒息やケガなどにつながるおそれがあります。



楽な姿勢



浅すぎ



深すぎ



⚠ 警告

- おくるみの着用やタオルまたは毛布でくるむなど、両足の出ない状態では乗せないこと。



⚠ 警告

- 冬場など、過度の厚着のまま乗せないこと。



- 毛布などを敷いた上に乗せないこと。



- 両足は必ず、バックルを中心に左右に出すこと。



- 乳児肩ベルトを左右両肩に正しくかけること



4 乳児肩ベルトの高さ調整

お子様を正しく乗せた状態で、適切な乳児肩ベルトの高さを確認します。

乳児肩ベルトの高さは、乳児肩ベルトを通す乳児肩ベルト通し穴の上下の位置で調整します。

乳児肩ベルトの適切な高さは、お子様を正しく乗せた

状態で、お子様の肩の位置より下で最もお子様の肩の高さに近い乳児肩ベルト通し穴の位置です。

お子様の肩の位置が、最も低い乳児肩ベルト通し穴より低くなってしまった場合には、最も低い乳児肩ベルト通し穴に調整します。

乳児肩ベルトの高さが決まったら、バックルを外して、お子様を降ろします。バックルの外し方は、「2. バックルの外し方」(P10)を参照してください。



⚠ 警告

- 乳児肩ベルトの高さは必ず適切に調整すること。
- お子様の成長にあわせて、適宜、乳児肩ベルトの高さを確認し、適切に調整すること。

01 両方の乳児肩ベルトから、ベルトパッドを引き抜きます。



02 本体裏側の収納コンパートメントを開きます。



03 乳児肩ベルトを乳児肩ベルト通し穴からゆっくりと引き抜きます。確認した適切な乳児肩ベルト通し穴に、ねじれないように気を付けながら乳児肩ベルトを通しなおします。



04 ベルトパッドを取り付けます。ベルトパッドには左右の向きがありますので、図のように正しく取り付けてください。

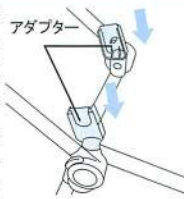


05 収納コンパートメントを閉じます。

⚠ 警告

- 乳児肩ベルトにねじれがないようにすること。ねじれがあると事故や急制動の場合に本製品が本来の性能を発揮できません。
- ベルトパッドは必ず取り付けること。ベルトパッドを外して使用すると、事故や急制動の場合に、お子様の首や肩に過度の負担がかかります。ベルトパッドの左右を間違えないこと。

03 本製品の背もたれ側をベビーカーの進行方向側に向けて、キャリングハンドルの根元にある左右のベビーカージョイントを、Quinny ZAPP / Buzz または Maxi-Cosi Mura (いずれも別売) ベビーカーのフレームの左右のアダプターにそれぞれ載せて、「カチッ」と音がするまで押し込み、固定します。



⚠ 警告

- Quinny ZAPP / Buzz、Maxi-Cosi Mura (いずれも別売) ベビーカーのフレームに正しく固定されていないと、本製品がベビーカーから落下し、大変に危険です。

取り外し方

⚠ 警告

- 取り外し作業を行う前に必ず、お子様が本製品に正しく固定されているかどうか実際に確認してください。他の人やお子様自身がバックルに触れるなどして、バックルが解除されてしまっている場合があります。
- お子様が本製品に正しく固定されていない状態で取り外し作業を進めると、お子様が本製品から落下するなどして、死亡または重傷を負うおそれがあります。



⚠ 警告

- Quinny ZAPP / Buzz または Maxi-Cosi Mura (いずれも別売) ベビーカーのフレームのキャスターを完全にロックしてベビーカーを動かないようにしてから作業すること。完全にキャスターがロックされていないと、取り外し作業中にベビーカーが動き、非常に危険です。



01 本製品の左右両側にあるコントロールボタンに両手の親指を添えます(まだ、ボタンを押さないでください)。残りの指で、本製品の本体の縁をしっかりと持ちます。



02 コントロールボタンが押されると、ベビーカーと本製品の取り付け固定が解除されます。両方の親指でコントロールボタンを押しながら、ゆっくりと本製品を持ち上げて、本製品を Quinny ZAPP / Buzz または Maxi-Cosi Mura (いずれも別売) ベビーカーから取り外します。



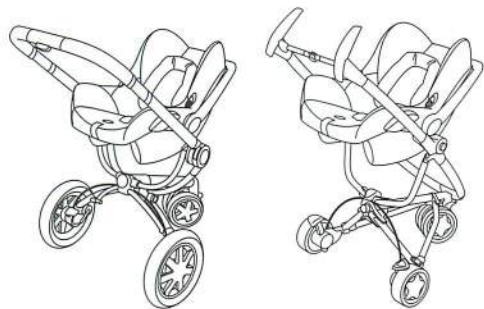
⚠ 警告

- ベビーカーを折りたたむためなど、取り外した本製品を置く必要がある場合には、安全で安定した地面の上に置くようにしてください。

※オプションの部品をお使いいただく事により、弊社 Aribuggy シリーズのベビーカーにも取り付けられます。詳しくは、本取扱説明書裏に記載の GMP サポートデスクでご確認ください。

ベビーカー用シートとして使用

お子様を乗せたまま使用する場合には、お子様を本製品に正しく固定し、本製品を落下させないよう細心の注意を払ってください。



⚠ 警告

● 本製品を取り付けて使用できるベビーカーは、マキシコシ製 Quinny ZAPP / Buzz、Maxi-Cosi Mura (いずれも別売) ベビーカーのみです。その他のベビーカーに取り付けて使用することはできません。マキシコシ製ベビーカーの新製品情報については、本取扱説明書裏に記載の GMP サポートデスクまでご連絡ください。

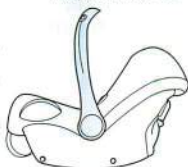
● 本製品を Quinny ZAPP / Buzz または Maxi-Cosi Mura (いずれも別売) に取り付けて使用する前に、それぞれの取扱説明書を熟読し、その指示に従うこと。

※オプションの部品をお使いいただく事により、弊社 Aribuggy シリーズのベビーカーにも取り付けられます。詳しくは、本取扱説明書裏に記載の GMP サポートデスクでご確認ください。

取り付け方

01 本取扱説明書「キャリングハンドルの使い方」(P8)に従って、キャリングハンドルを、キャリングポジションに設定し固定します。

キャリングポジション



アドバイス

チャイルドシートとして使用した後であれば、キャリングハンドルは、キャリングポジションで固定されているはずです。

02 Quinny ZAPP / Buzz、Maxi-Cosi Mura (いずれも別売) ベビーカーそれぞれの取り扱い説明書の記載に従って、ベビーカーのフレームを開いてロックし、作業中にベビーカーが動かないようにキャスターをロックします。

ロックする



⚠ 警告

● Quinny ZAPP / Buzz または Maxi-Cosi Mura (いずれも別売) ベビーカーのフレームを正しく開いてロックしてから作業すること。完全に開いていないと、本製品が正しく取り付けられないだけでなく、フレームが安定せず、取り付け作業中に本製品が落下するおそれがあります。

● Quinny ZAPP / Buzz または Maxi-Cosi Mura (いずれも別売) ベビーカーのフレームのキャスターを完全にロックしてベビーカーを動かないようにしてから作業すること。完全にキャスターがロックされていないと、取り付け作業中にベビーカーが動き、非常に危険です。

5 乳児ベルトの調整

お子様を本製品に乗せます。正しい乗せ方は、「1. 乳児肩ベルトをゆるめる」(P10) から「3. 乗せ方」(P11) を参照してください。

01 左右の乳児肩ベルトを、左右正しく、ねじれないようにお子様の肩に掛けます。



02 左右の差込タングを両方そろえ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。



⚠ 警告

- 乳児肩ベルトにねじれがあってははいけません。
- 差込タングがバックルに正しく差し込まれていないればなりません。

03 前部のクイックアジャスターベルトを手前に引いて、乳児ベルトを調整します。



04 乳児ベルトとお子様の間に指が一本しか入らない程度を目安にしてください。

⚠ 警告

● 乳児ベルトを正しく調整すること。乳児ベルトが緩んでいると、事故や急制動の場合にお子様为本製品から飛び出したり、乳児ベルトがお子様の首に絡んだりするおそれがあります。

● クイックアジャスターベルトを使って、乳児ベルトの調整ができない場合は、絶対に本製品をそのまま使用しないこと。本取扱説明書裏に記載の GMP サポートデスクまでご連絡ください。

6 チェック

各調整が適切に行われたか、チェックします。

- ① お子様为正しく本製品に乗っていること。
- ② 乳児肩ベルトの位置が適切であること。
- ③ 乳児ベルトにねじれ、たるみが出ていないこと。
- ④ 差込タングが正しくバックルに固定されていること。
- ⑤ クイックアジャスターベルトで適切に乳児ベルトが調整されていること。



本製品の日常的な使用においては、「1. 乳児肩ベルトをゆるめる」(P10) から「3. 乗せ方」(P11) までと、「5. 乳児ベルトの調整」(P13) を行います。お子様の成長に合わせて、「4. 乳児肩ベルトの高さ調整」を行い、常に適切に使用してください。

サンキャノピーの使い方

本製品には、お子様を強い日差しから守るためにサンキャノピーが装備されています。

サンキャノピーは、本製品背面のサンキャノピー格納
リムに格納されています。

01 本取扱説明書の「キャリ
ングハンドルの使い方」
(P 8)に従って、キャリ
ングハンドルを、キャリ
ングポジションに設定し固
定します。



02 サンキャノピー格納ロック
ボタンを押して、サンキャ
ノピー格納リムを開き出
します。



03 サンキャノピー格納リムの開口部からサンキャノピーを引き出します。



04 サンキャノピーの左右についているボタン穴を、キャリングハンドルのサンキャノピーフックにそれぞれ掛けます。



05 サンキャノピー格納リムを閉じてください。
サンキャノピーを格納する場合、サンキャノピー格納リム内からはみ出さないようにサンキャノピーを収納してから、サンキャノピー格納リムを「カチッ」と音がするように閉じてください。



⚠ 注意

● サンキャノピーがサンキャノピー格納リムからはみ出したままサンキャノピー格納リムを閉じないこと。サンキャノピーやサンキャノピーリムに損傷をあたえるおそれがあります。

● サンキャノピー格納リムを正しく閉じること。サンキャノピー格納リムが正しく閉じられていないと、本製品を持ち運ぶ際などにサンキャノピーを損傷したり、サンキャノピー格納リムが破損したりして本製品が落下するおそれがあります。

ベビーチェアとして使用する

本取扱説明書「キャリングハンドルの使い方」(P8)に従って、キャリングハンドルを、シッティングポジションに設定し固定して使用します。



キャリングハンドルをロッキングポジションに設定し固定すると、ロッキングチェアとして使用できます。



⚠ 注意

● ロッキングチェアはゆっくりとやさしく手で押して使用してください。

● ロッキングチェアを長時間使い続けると、お子様が嘔吐する事があります。食事の直後の使用は控えてください。また、月齢の低いお子様（首がすわる前）のご使用はお控えください。

● 傷の付きやすいフローリングなどの床の上で使用すると、床に傷を付ける場合があります。滑らないマットなどを敷いて、使用してください。

警告

次の禁止事項を守らないと、お子様や持ち運んでいる方がケガを負ったり、お子様が本製品から落下したりして死亡または重傷を負うおそれがあります。

お子様の放置

●必ず保護者の目の届く場所
で使用してください。



危険のある場所での使用

●暖房器具やコンロ、電気コンセント、電気コードなどの近く、棚やテーブルなど落下する可能性のある物がおいてある場所の下など、危険のある場所の近くでは使用しないでください。



不安定な場所での使用

●高いところや、凸凹、傾斜のある場所では使用しないでください。



本製品の使用に関する共通の禁止事項

ベビーキャリアとして使用する

本取扱説明書「キャリングハンドルの使い方」(P8)に従って、キャリングハンドルを、キャリングポジションに設定し固定します。「本製品の正しい持ち方」(P9)もあわせてご確認ください。

アドバイス

チャイルドシートとして使用した後であれば、キャリングハンドルは、キャリングポジションで固定されているはずです。

持ち方

キャリングハンドルを握って持ちます。キャリングハンドルを片手または両手で握るか、肘にかけて持ちます。歩く際に太ももに本体が当たってゆれる場合は、ゆれないように本体を支えてください。

できるだけ本体が地面に対して水平に安定するように注意してください。



⚠ 警告

次の禁止事項を守らないと、お子様や持ち運んでいる方がケガを負ったり、お子様が本製品から落下したりして死亡または重傷を負うおそれがあります。

お子様を乳児ベルトで固定しない状態での使用

● 乳児ベルトでお子様を正しく固定してください。



階段などの段差のある場所・間口の狭い場所での不注意な使用

● 階段や段差に本体がぶつかったり、壁にぶついたりしないように慎重に持ち運んでください。



本製品の本体が安定しない持ち方での使用

● キャリングハンドルを肩に担ぐなどして本体を斜めにしたたり、振り回すなど大きく揺らしたりするような持ち方はしないでください。



キャリングハンドルのキャリングポジション以外で使用する

● 本製品をベビーキャリアとして使用する場合には、キャリングハンドルを必ずキャリングポジションで使用します。



ここでは、本製品をチャイルドシートとして、ベビーキャリアとして、ベビーチェアとして、またベビーカーに取り付けるベビーカー用のシートとしてご使用いただく際

に、共通して守らなければならない禁止事項を説明します。本製品をどの目的で使用する際にも、必ず守ってください。

⚠ 警告

次の禁止事項を守らないと、本製品が安全性能を発揮できないばかりか、お子様や他の人が死亡または重傷を負うことがあります。

お子様を正しく固定しない

● 本製品に複数のお子様を座せたり、お子様を立たせたり、正座、中腰の姿勢で使用してはいけません。本取扱説明書の「お子様の乗せ方」(P10～13)の指示にしたがい、正しくお子様を固定してください。



お子様の体重や体格などが適さない場合の使用

● 本製品を使用可能なお子様の体重は0kg～13kg(おおよそ生後12ヶ月まで)となります。お子様の体重が使用可能条件に合わない場合は使用しないでください。

特に、チャイルドシートとして使用する場合には、使用可能な体重に関する基準があります。この体重を超えた場合には、絶対に使用しないでください。

また、お子様の体格によって、頭頂部が本体からはみ出してしまう、足が本体から極端にはみだ出してしまうなど、体重に係わりなく、お子様を正しく固定できない場合も使用しないでください。



リユース(中古品)の使用

● リユース(中古品)の本製品は、部品の欠落や劣化の可能性があります。また過去に強い衝撃を受けた履歴、保管状況などの使用歴が不明なため使用してはいけません。本製品の安全性を保証できるのは、お買い上げいただいた最初の所有者が正しくお使いいただいている場合のみとなります。



本製品の使用に関する共通の禁止事項 (つづき)

危険な場所に本製品を置くこと

●本製品にお子様を乗せているときはもちろん、お子様を乗せていないときにも、本製品を車の屋根の上や、テーブル、椅子、カウンター、ベッド、買い物カートの上などの高い場所、電車やバスのシートの上など



本製品の改造と純正部品以外の使用

●本製品の部品を取り外して交換、追加、改造したり、本製品同梱の部品以外のものを使用したりしてはいけません。本製品のシートカバーやウレタン部品等を取り外して使用することも改造にあたりますので、絶対におやめください。また、本製品のシートカバーや本体に貼られているロゴ、ラベルやシールも本製品の一部です。決してはがしたりしてはいけません。



損傷した乳児ベルトの使用

●本製品の乳児ベルトに損傷が生じた場合、そのまま使用してはいけません。



ど、安定しない場所に放置してはいけません。本製品が転倒、落下して危険です。

市販のアクセサリの使用

●市販されているアクセサリを使用してはいけません。お子様を正しく固定できなくなるおそれがあります。



乳児ベルトが緩んだ状態での使用

●本製品の乳児ベルトが緩んだ状態で使用してはいけません。事故や急制動、急激な動きが発生した場合にお子様に過剰な衝撃が加わったり、お子様が本製品から飛び出したり、本製品から落下するおそれがあります。また、緩んだ乳児ベルトがお子様の首に絡むなどして、窒息するなど重大な事故につながるおそれもあります。



本製品をベビーキャリア・ベビーチェア・ベビーカー用シートとして使用する

本製品は、チャイルドシートとしての他、ベビーキャリア、ベビーチェア、Quinny ZAPP / Buzz または Maxi-Cosi Mura (いずれも別売) ベビーカーに取り付けるベビーカー用のシートとして使用する事ができます。

ベビーキャリア、ベビーチェア、ベビーカー用シートとして使用する場合も、チャイルドシートとして使用する場合と同じく、お子様を正しく固定して、正しくお使いください。

本取扱説明書の「お子様の乗せ方」(P10 ~ 13) に従って、本製品をお子様の体格に合わせて調整し、正しく乗せます。



ベビーキャリア



ベビーチェア



ベビーカー用シート

警告

●本製品にお子様を乗せる場合は、いかなる場合でも必ず乳児ベルトで正しく固定すること。

※オプションの部品をお使いいただく事により、弊社 Aribuggy シリーズのベビーカーにも取り付けられます。詳しくは、本取扱説明書裏に記載の GMP サポートデスクでご確認ください。

本製品の使用に関する禁止事項

警告

次の禁止事項を守らないと、お子様や本製品を利用する方が死亡または重傷を負うような事故につながるおそれがあります。これらの禁止事項はベビーキャリア、ベビーチェア、ベビーカー用シートとして使用する場合全てに当てはまります。

安定しない場所や高い場所に置くこと

●凸凹の極端な場所、椅子や机、カウンター、ベッド、買い物カートの上などの高い場所、電車やバスのシートの上など、安定しない場所に本製品を放置してはいけません。本製品が落下するおそれがあります。ベビーカー用シートとして正しく取り付けられている場合を除いて、本製品は、安定した地面に置くようにします。



本製品の取り付け

- 01** キャリングハンドルを「キャリングハンドルの使い方」(P8)に従って、キャリングポジションにし、本製品を、EasyFix または EasyBase の中央に、後ろ向きに軽く置きます。



⚠ 注意

- EasyBase または EasyFix (いずれも別売) への取り付けには差し込みジョイント機構を利用します。無理に押し込むと、本製品または EasyBase、EasyFix が破損するおそれがあります。

- 02** 本製品の底面にある取り付け棒を EasyBase または EasyFix の受け口に差し込みます。正しく差し込まれると、「カチッ」と音がします。2カ所で固定しますので、2カ所から「カチッ」と音が聞こえた事を確認してください。



- 03** 正しく取り付けられると、EasyBase または EasyFix の取り付け確認のインジケータが、赤色から緑色に変わります。



⚠ 危険

- 本製品を取り付けても、EasyBase または EasyFix (いずれも別売) の取り付け確認のインジケータ赤色のままの場合、絶対に本製品を使用しないこと。

- 04** お子様に乗っている場合には、乳児ベルトでお子様を正しく固定されていることを確認します。



⚠ 警告

- お子様は乳児ベルトで正しく固定されていないと、お子様が本製品から落下したり乳児肩ベルトが首に絡まったりするおそれがあります。

EasyBase (別売) または EasyFix (別売) からの取り外し

- 01** EasyBase または EasyFix のリリースレバーを引き上げながら、手前に引きます。取り付け確認のインジケータ緑色から赤色になり、本製品の固定が解除されます。



- 02** キャリングハンドルを持って、ゆっくりと本製品を持ち上げて EasyBase または EasyFix から取り外します。



本製品に過度に負担を掛けること

- 本製品に、過度に重いものを載せたり、車の座席のリクライニングで挟むなどしたりしてはいけません。本製品に損傷を与えたり、チャイルドシートとして使用している場合には取り付けがゆるむなどしたりして本製品が安全に機能しなくなる可能性があります。



正しくお手入れを行わない事

- 本製品のお手入れに潤滑油を使用するなど、不正なお手入れをおこなってはいけません。特に、本製品の可動部分などに潤滑油を使用すると、本製品が安全に機能しなくなる可能性があります。正しいお手入れの方法については、本取扱説明書の「お手入れの方法」(P38 ~ 43)を参照してください。



購入日から5年を超えた場合の使用

- 購入日から5年を超えた本製品を使用してはいけません。部品の劣化のため、本製品が安全に機能しない可能性があります。



交通事故にあたり強い衝撃を受けた後使用

- 交通事故にあたりや本製品を落下させたり、車のドアで強くはさむなどして、本製品に強い衝撃が加わった場合、絶対に使用してはいけません。目には見えない傷などによって、本製品が安全に機能しない可能性があります。



正しくない保管

- 本製品を、露天や直射日光のあたる所に保管してはいけません。部品の劣化が早まり、本製品が安全に機能しなくなる可能性があります。



本製品の使用に関する注意事項

- 長時間連続してお子様を固定し続けると、疲労を与えるばかりでなく、健康に悪影響を与えるおそれもあります。長時間に渡って本製品を使用する場合は、月齢の低い間は最低でも1時間に1度、お子様が成長した後でも、適宜、お子様が体を自由に動かせるよう休憩を取るなどしてください。



本製品の使用に関する共通の禁止事項 (つづき)

本製品をチャイルドシートとして使用する

本製品を車の座席に取り付けるには、次の方法があります。

● 自動車の3点式シートベルトによる座席への取り付け

本製品は、ECE R16に準拠(シートベルト長が220cm以上)した3点式シートベルトを装備した車に取り付けられるように設計されております。ただし、座席の形状や、取り付け場所によっては取り付けられない場合もあります。

● EasyBase または EasyFix (いずれも別売) を用いた座席への取り付け

EasyBase または EasyFix (いずれも別売) を、あらかじめ自動車の座席に取り付けておけば、本製品を3点式シートベルトで固定する必要なく、本製品を簡単に取り付けチャイルドシートとして使用することができます。取り付けと取り外しが簡単になりますので、本製品をチャイルドシートとしてだけでなく、ベビーキャリア、ベビーチェア、ベビーカー用のシートとしても使用していただく際に、非常に便利です。

取り付けができない車と座席

● 助手席

本製品は、助手席に取り付けて使用することはできません。



⚠ 警告

● EasyBase または EasyFix (いずれも別売) を使用して本製品をチャイルドシートとして使用する場合は、EasyBase または EasyFix (いずれも別売) がチャイルドシートを取り付ける土台となりますので、EasyBase または EasyFix (いずれも別売) の取扱説明書と適合車種一覧の指示に従うこと。

⚠ 危険

次の場合、本製品を取り付ける事ができません。この指示を守らないと、お子様や他の同乗者が死亡または重傷を負うような切迫した危険が生じます。

適合確認ができない車

● 本製品を取り付けられる車と座席については、同梱の適合車種一覧でご確認ください。適合車種一覧は、車の一般的な純正座席によって確認しています。特別仕様の座席や、座席をメーカー純正規格外のものに取り替えられた場合は正しく取り付けられないことがあります。座席が一般的な純正座席かどうか明確でない場合は、車のメーカーかまたは購入された自動車ディーラーに確認してください。

EasyBase または EasyFix (いずれも別売) に本製品を取り付けて使用する場合は、EasyBase または EasyFix (いずれも別売) が取り付けられる座席で使うことができます。

※適合車種一覧は更新されています。本製品をお使いになる車が適合車種一覧にない場合には、本取扱説明書裏に記載の GMP サポートデスクまでご連絡をいただくか、または、<http://www.airbuggy.com/product/>にてご確認ください。

EasyBase (別売) または EasyFix (別売) による座席への取り付け

本製品を3点式シートベルトで直接に座席に取り付けず、EasyBase または EasyFix (いずれも別売) に取り付けて使用する事ができます。必ず、EasyBase または EasyFix の取扱説明書を熟読し、その指示従って車の座席に取り付けてください。

⚠ 危険

● EasyBase または EasyFix (いずれも別売) に本製品を取り付ける際の適合車種や取り付けに関する条件、禁止事項等は EasyBase または EasyFix のそれぞれの条件、禁止事項に準拠します。適合車種や取り付けに関する条件、禁止事項等が本取扱説明書の記載と異なる場合には、EasyBase または EasyFix のそれぞれの取扱説明書の指示に従うこと。

EasyBase (別売) の説明

EasyBase は、3点式シートベルトとサポートレッグで取り付けます。



EasyFix (別売) の説明

EasyFix は、チャイルドシートの取り付け規格である ISO-FIX (ECE R44/04) または 3点式シートベルトとサポートレッグによって取り付けます。



※現在のところ、ISO-FIX での取り付けに関しては、2006年2月以降に製造された欧州車に適合するようになっています。2012年7月より製造される日本車にも取り付けられるようになる予定ですが、その間は日本車にはご使用いただけません。

アドバイス

適合車種については、それぞれ適合車種一覧で確認いただけます。<http://www.airbuggy.com/product/> または本取扱説明書裏に記載の GMP サポートデスクまでご連絡ください。

EasyBase (別売) または EasyFix (別売) への取り付け

⚠ 危険

● 本製品を取り付ける前の時点に取り付け確認のインジケーターが緑のままでは、正しく本製品が取り付けられていることを確認することができません。そのまま取り付けると、事故や急制動の場合に本製品が外れるおそれがあります。

本製品を取り付ける前でも取り付け確認インジケーターが緑色になっている場合には、そのまま取り付けず、本取扱説明書裏に記載の GMP サポートデスクまでご連絡ください。

01 EasyBase または EasyFix のそれぞれの取扱説明書と製品本体の記載に従って、正しく車の座席に取り付けます。



02 EasyBase または EasyFix の取り付け確認のインジケーターが赤色になっている事を確認します。



車への取り付け方 (つづき)

取り付け確認

最後に、本製品が正しく車の座席に取り付いているかどうか確認します。

走行前にも、都度、下記項目を確認するようにします。

警告

● 確認事項に該当しない項目が一つでもある場合にはもう一度本製品を取り付けなおすこと。何度か取り付けなおしても状況が改善しない場合には、他の座席での取り付けを試してみてください。

危険

● 確認事項に該当しない項目がある状態で、絶対に本製品を使用しないこと。

お子様の正しい乗せ方については、「お子様の乗せ方」(P10～13)を参照してください。

アドバイス

後部座席に本製品を取り付けた場合、その前の座席を後ろに移動させ、本製品とのすきまを減らしておく、より安全性が高まります。

注意

● 前の座席を後ろに移動しすぎると、本製品を座席が押ししまい、本製品を破損したり、取り付けがゆるんだりするおそれがあります。特に、ドライビングポジションを前後に調整できる電動式の座席の場合に注意してください。

①車のシートベルトの差込タンクがバックルに正しく固定されていることを確認します。

②車のシートベルトにねじれ、たるみがないことを確認します。

③3カ所の青いベルトフックにシートベルトが正しく通っていることを確認します。

④本製品の先端(お子様を乗せた際の足元の部分)が、座席のシートの背もたれ部分に接していることを確認します。

⑤キャリングハンドルが、キャリングポジションで固定されていることを確認します。

⑥本製品の下の部分を持って、前後左右に動かして、3cm程度以上動かないことを確認します。

⑦お子様を実際に乗せてみても、本製品を取り付けている車のシートベルトにゆるみが出ないことを確認します。

⑧最後に、お子さまを実際に乗せて、乳児ベルトで固定して、乳児肩ベルトの長さが適当に調整されていること、乳児肩ベルトの差込タンクに正しく固定されていることを確認します。



座席のシートベルトが3点式以外の場合

● 本製品は3点式シートベルトの装備された車の座席にのみ取り付けようになっています。シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトによる座席への取り付けもできません。



シートベルトなし



2点式シートベルト



3点式シートベルト

フロントエアバッグの搭載された助手席

● フロントエアバッグが作動すると、エアバッグの衝撃により、お子様が死亡または重傷を負うおそれがあります。車の種類によってはフロントエアバッグが装備されていてもチャイルドシートを取り付けるために、その機能を停止させることができる場合があります。フロントエアバッグの機能を停止させる方法については、車の取扱説明書をご確認ください。(サイドバックはそのままご使用いただけます)



※本製品については、助手席での使用そのものを禁止しております。

バッドシートベルトの搭載された助手席

● ドアを閉めると、自動的にシートベルトを着用してくれる座席。



※本製品については、助手席での使用そのものを禁止しております。

本製品を取り付けた場合に安定しない座席

● バケットシートなど凸凹が極端な座席で本製品を置いた際に安定しない座席や、本製品を取り付けた際に、ドアノブやピラーなど座席以外の車の構造物に本製品が接触する座席。



後ろ向き・横向きなどの座席

● 本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付けが可能です。車の進行方向に向かって、後ろ向きや横向きの座席に取り付けた場合、交通事故や急制動の場合に本製品が座席から外れたり、お子様が本製品から飛び出したりして、お子様や他の同乗者が死亡または重傷を負うおそれがあります。また、補助席などの特別な座席にも取り付けができません。



本製品の使用に関する共通の禁止事項 (つづき)

本製品を取り付ける事により 自動車の運転に支障をきたす座席

- 本製品を取り付けると、サイドミラーが見えなくなる、サイドブレーキやシフトレバーが使用しにくくなるなど、自動車の安全な運転に支障をきたす座席。



※本製品については、助手席での使用そのものを禁止しております。

その他、本取扱説明書に従っても しっかり取り付けられない座席

- 座席の形状や、位置、サイズ、シートベルトの条件などにより、本取扱説明書に従ってもしっかりと取り付けられない座席。



小さい座席



短いシートベルト

本製品を取り付ける事により 他の乗員の脱出に影響のある座席

- 2ドアの自動車の助手席などに取り付けた場合、緊急時に後部座席の同乗者の脱出が非常に困難になる場合があります。

その他、片側スライドドアのワンボックスカーなど、本製品の取り付けしたことによって、他の同乗者の乗降と脱出に影響を与える可能性のある座席には取り付けないようにしてください。

本製品を座席に取り付ける前に、実際に本製品を座席の上に乘せてみて、全ての座席からスムーズに乗降できるか、また緊急時にお子様をすぐに脱出させることができるかを予め確認してください。



車の座席のシートベルトのバックルの 位置が適さない座席

- 車の種類によっては、座席のシートベルトのバックルの位置が高すぎて正しく取り付けられない場合があります。また、シートベルトのバックルの出る位置が座席の前方にあって正しく取り付けられない場合があります。



- 04 取り付けたシートベルトにねじれないかを確認してから、本製品に体重を掛けながら肩ベルトを締め、できる限り強く締めつけます。



⚠ 注意

- 本製品に体重を掛ける場合、本製品の座面中央の部分に力を掛けること。左右前後に極端にかたよったり、背中が当たる部分やキャリングハンドルに力を掛けたりすると、本製品が正しく取り付けられないだけでなく、本製品が破損、横転して、ケガを負うおそれがあります。

- 05 しっかりと取り付いたら、シートベルトが3カ所のベルトフックの青色でマーキングされた位置に正しく通っているかどうか、もう一度確認します。



- 06 本製品は前方からの衝撃時に、お子様の背中が衝撃を受け止めるように設計されています。本製品の背中の部分が水平面に対して、45度程度の角度で取り付けられているかどうかを確認します。適切な角度になっていない場合には、もう一度本製品を取り付け直して角度を調整します。



⚠ 警告

- 背中の角度が浅すぎると、前方からの衝撃時にお子様がお座席から飛び出したり、お子様が過度に荷重を受けたりするおそれがあります。



- 背中の角度が深すぎると、衝撃時にお子様の頭部に過度の荷重がかかるおそれがあります。また、通常使用時でも、首のグラグラしている月齢の低いお子様の場合、首が折れ曲がり窒息などの事故につながるおそれがあります。



- 角度の調整のために、絶対にモノ（タオルや枕、座布団など）を本製品と座席の間または、本製品の座面とお子様の背中の間に挟まないこと。



車への取り付け方 (つづき)

01

車の座席シートベルトを引き出し、腰ベルトを、本製品本体の左右のベルトフックの青色のマーキングに従って通します。

シートベルトの固定機能が働いてしまった場合には、「車のシートベルトの種類について」(P26) のシートベルトの種類を確認し、車の取扱説明書を参照して、固定機能を解除して作業を続けてください。



左右ベルトフック

本製品の背面にある青色でマーキングされたベルトフックにシートベルトを通し、固定します。

この際に、肩ベルトが、キャリングハンドルに引っ掛からないようにしてください。



背面ベルトフック

警告

●車の座席のシートベルトの肩ベルトがキャリングハンドルに掛からないようにすること。キャリングハンドルに掛かった状態で取り付けると、本製品が正しく取り付けられません。また、キャリングハンドルが破損するおそれがあります。



掛からない



注意

●本製品の取り付け作業中にシートベルトの固定機能が働いてしまった場合には、取り付け作業ができなくなります。固定機能を解除してからやり直すようにしてください。無理に取り付け作業を進めると、本製品や車のシートベルトを破損するおそれがあります。

警告

- 左右両方のベルトフックに通すこと。
- 車のシートベルトの腰ベルトと肩ベルトを取り違えないこと。

02

車のシートベルトの肩ベルトを、奥(シートベルトの差込バックル側)から本製品の背面側に巻きつけてください。



03

車の座席のシートベルトの差込タンクを、バックルに差し込みます。



カチッ

本製品の使用に関する禁止事項

警告

次の禁止事項を守らないと、本製品が安全性能を発揮できないばかりか、お子様や他の人が死亡または重傷を負うことがあります。

前向き・横向きでの使用

●本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席に、後ろ向きに取り付けて使用します。本製品を前向き・横向きなどにして使用してはいけません。



損傷したシートベルトでの取り付け

●シートベルトが損傷している座席には取り付けてはいけません。交通事故や急制動の場合にシートベルトが切断し、本製品が座席から外れ、お子様や他の同乗者が死亡または重傷を負うおそれがあります。



お子様を車内に放置しない

●絶対にお子様を本製品に固定したまま車の中に放置してはいけません。日差しにより車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、エアコンをかけていても、保護者がいない不安から、お子様が暴れ、もがくなどして、窒息したり、誤って車の操作をしたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。



キャリングハンドルのキャリングポジション以外で使用する

●本製品をチャイルドシートとして使用する場合には、キャリングハンドルを必ずキャリングポジションで使用します。



走行前の取り付け確認をしない

●走行前には、毎回、本製品の座席への取り付け状態と、お子様が正しく乗っているかを必ず確認してください。特に、年長のお子様がいる場合など、保護者が目を放した間に、本製品や座席のシートベルトを触り、本製品の取り付けがゆるむなどしている可能性もあります。



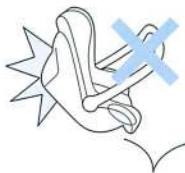
本製品の取り付けに際して車の座席にカバーなどをしない

●車の座席にカバーや、クッションなどを敷いた上に本製品を取り付けてはいけません



常にしっかり取り付けておく

● お子様を使用しない場合でも、車に本製品を乗せる時は常に本取扱説明書にしたがって、正しくしっかりと取り付けておかなければなりません。本製品が正しくしっかりと取り付けられていないと、交通事故や急制動の場合に本製品が座席から外れ、他の同乗者にあたるとして、死亡または重傷を負うおそれがあります。



本製品取り付け後 車の座席のリクライニング操作をしない

● 本製品を取り付け後、車の座席のリクライニングの操作をしてはいけません。取り付けがゆるむなどして、交通事故や急制動の場合に本製品が座席から外れ、お子様や他の同乗者が死亡または重傷を負うおそれがあります。



お子様の状態を確認する

● 本製品は、お子様が操作しにくいように設計されていますが、万が一、お子様や他の同乗者が乳児肩ベルトをゆるめてしまったり、バックルボタンを押してしまったりすると、お子様が正しく固定されず非常に危険です。ご使用中でも、適宜に車を安全な所にとめて、お子様の状態を確認するようにしてください。



車の座席のシートベルト以外での取り付け

● 本製品の座席への取り付けは、車の座席のシートベルトによって行います。ヒモやベルトなどシートベルト以外で本製品を固定してはいけません。シートベルトで正しく固定した本製品の上に更にヒモやベルトで固定してはいけません。交通事故や急制動時に死亡または重傷を負うような事故につながるおそれがあるばかりでなく、通常のご使用中でも、お子様がヒモやベルトに絡むなどして、窒息するなど重大な事故につながるおそれがあります。



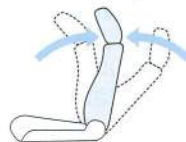
走行中の本製品の操作をしない

● 車の走行中に本製品の操作をしてはいけません。取り付けの確認や、お子様の固定の確認でも、操作中に交通事故や急制動によってお子様が本製品から飛び出したり、本製品が座席から外れたりするおそれがあります。本製品の操作は、車を安全な場所に止めてから行ってください。また、走行中に異常を発見した際には、落ち着いて、直ちに車を安全な場所に止めてから操作してください。



取り付けの準備

取り付ける座席のリクライニングが極端に寝た、または極端に立った状態になっている場合は、リクライニングを取り付けやすい角度に調整します。シートベルトの肩ベルトの取り出し口の高さが調整できる機能が付いている場合は、一番低い位置に設定します。



⚠ 警告

● 背もたれが可倒式の後部座席に取り付ける場合、背もたれを固定すること。背もたれが固定されていないと、事故や急制動の際に背もたれが動き、本製品が外れるおそれがあります。

アドバイス

位置を前後に調整できる座席の場合、座席を後ろに移動させて取り付けて、取り付け完了後に座席を前に移動させると、よりしっかりと本製品を取り付けることができます。

本製品の設置

キャリングハンドルを、「キャリングハンドルの使い方」(P8)に従ってキャリングポジションに固定し、本製品を、取り付ける座席の中央に、後ろ向きに置きます。本製品の先端(お子様を乗せた際の足元側の部分)が、座席のシートの背もたれ部分に接するように、本製品を押し込みます。



⚠ 警告

● 車の進行方向に対して前向きの座席に、本製品を後ろ向きで取り付けること。車の座席、本製品とも、その他の向きには絶対に取り付けてはいけません。
● キャリングハンドルは必ずキャリングポジションに正しく固定すること。

取り付け

本製品は、3カ所のベルトフックにシートベルトを通して取り付けます。正しくシートベルトを通すため、シートベルトを通す位置に青色のマーキングをしてあります。本取扱説明書にしたがい、ベルトフックの青色のマーキングの位置に正しくシートベルトを通して取り付けてください。



車への取り付け方 (つづき)

車のシートベルトの種類について

本製品は、ECE R16に準拠(シートベルト長が220cm以上)した3点式シートベルトを装備した前向きの座席に取り付けられるように設計されています。シートベルトの種類によっては、本製品が正しく取り

付けられない可能性があります。下図の説明を参考にして、車の取扱説明書を確認し、装備されている3点式シートベルトの種類を確認してください。

● 3点式シートベルト

シートベルトの種類	機能・特徴	取り付け可否	取り付けの注意点
ALR 自動ロック式 ベルト巻取り装置	シートベルトの引き出しを途中で止めるとその時点で固定され、戻す方向にしか動かなくなる(それ以上引き出せなくなる)。最後まで戻すと固定機能が解除される。	○	本製品を固定するのに必要な長さを引き出してから、取り付けてください。
ELR 緊急ロック式 ベルト巻取り装置	シートベルトがゆっくりとならば引き出せるが、強く引き出そうとすると固定される(それ以上引き出せなくなる)。	○	ゆっくりとシートベルトを引き出して本製品を取り付けてください。
NR	固定機能がなく、シートベルトの引き出し、戻しができる。	×	取り付けできません
ELR/ALR チャイルドシート固定機構付 ベルト巻き取り装置	通常時にはELRとして機能しますが、シートベルトを最後まで引き出すと、ALRに切り替わり、戻る方向にしか動かなくなります。なお、シートベルトが最後まで引き戻ると、再びELRに切り替わります。	○	シートベルトを最後まで引き出すとしっかりと取り付けできません。最後まで引き出さずに取り付けをしてください。
その他のシートベルト	パッシブシートベルト・2点式・5点式シートベルトなど	×	取り付けできません

※種類が確認できなかった場合には、自動車のメーカーやお買い求めのディーラーに確認するようにしてください。

本製品の使用に関する注意事項

⚠ 注意

次の注意事項を守らないと、本製品が安全性能を発揮できないばかりか、お子様や他の同乗者が軽傷または中程度の傷害を負うこと、および、本製品またはその他の物的な資産に損害をあたえ得ます。

本製品が加熱していないか確かめる

● 野外に駐車する際には、樹脂部品や金属部品が過熱するおそれがあるため、本製品に覆いをするなどして加熱を防いでください。加熱した部品を触るとやけどするおそれがあります。



炎天下で駐車した際には、やけどを防ぐため、樹脂部品や金属部品が過度に加熱していないか確かめてからお子様を乗せてください。また、温度を確かめる際には、確認される方もやけどしないよう、十分に注意してください。

車内の荷物は固定する

● 車内の移動する物は全て適切に固定してください。固定されていない荷物などがあると、交通事故や急制動の際に移動し、お子様や同乗者に当たりケガを負うおそれがあります。



本製品の使用に関する承認事項

本製品を正しく取り付けの際に、車の座席にくぼみや傷が発生する場合があります。安全基準を満たし、お子様を安全に保護するためには常に本製品が正しく、しっかりと車の座席に取り付けている必要があります。

当社は、本製品を正しくしっかりと車の座席に取り付けた結果として、車の座席にもたすおそれのある、あらゆる損傷について賠償責任を負いません。

⚠ 警告

- 絶対に、車の座席の保護等のために本製品を取り付ける車の座席にカバーをしたり、本製品の下にクッションなどを敷いたりしないこと。本製品が正しく取り付けできず、交通事故や急制動によって本製品が座席から外れるおそれがあります。

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず、本製品のバックルボタンを押して、乳児肩ベルトを外し、お子様を車外に脱出させてください。

乳児肩ベルトがお子様に絡むなどしないよう注意してください。

衝撃等によって、バックルボタンが機能しない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用して、乳児肩ベルトを切断して、お子様を車外に脱出させてください。シートベルトカッターで、お子様を傷つけないように注意してください。



バックルボタン



シートベルトカッター

常に確認してください

本製品をチャイルドシートとして使用するに際、日常的に以下の各点を確認するようにしてください。また、運転を開始する前には必ず確認してください。

① キャリングハンドルが、キャリングポジションで固定されていること。



② お子様が正しく本製品に乗っていること。

③ 乳児肩ベルトの高さが適切に調整されていること。

④ 車の座席にしっかりと取り付けられていること。



※ 本体を前後に揺すって、グラグラしないか確認します。

⑤ 本製品を固定している車のシートベルトにねじれがないこと。

⑥ 本製品の乳児ベルトにねじれやゆるみがないこと。

⑦ バックルに差込タングがしっかりと差し込まれていて、固定されていること。

⑧ 車のシートベルトに傷がないこと。

⑨ 車のシートベルトがしっかりと留まっていること。

車への取り付け方

本製品は、車の座席の3点式シートベルトまたはEasyBaseまたはEasyFix（いずれも別売）によって取り付けます。

本製品は、取り付け適格が確認された車にのみ取り付けられています。同梱の適合車種一覧をご確認ください。

EasyBaseまたはEasyFix（いずれも別売）に本製品を取り付けて使用する場合は、EasyBaseまたはEasyFix（いずれも別売）が取り付けられる座席でのみ使用することができます。それぞれの適合車種一覧を確認してください。

※ 適合車種一覧は更新されています。本製品をお使いになる車が適合車種一覧にない場合には、本取扱説明書裏に記載のGMPサポートデスクまでご連絡をいただくか、または、<http://www.airbuggy.com/product/>にてご確認ください。

⚠ 危険

- 適合車種一覧に記載されている車種でも本製品を取り付けのできない座席と条件があります。これらを見逃して本製品を取り付けると非常に危険です。必ず、「取り付けができない車と座席」(P18～20)を確認してください。

⚠ 警告

- 本取扱説明書および本体に表記されている指示以外の方法で、本製品を座席に取り付けてはいけません。

自動車の3点式シートベルトによる座席への取り付け

⚠ 警告

- 必ず3点式シートベルトで本製品を取り付けること。シートベルトの付いていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトでの取り付けはできません。



3点式シートベルト



シートベルトなし



2点式シートベルト

- フロントエアバッグが機能している座席には、絶対に取り付けないこと。

